

産業建設委員会記録

令和2年1月31日（金）

9時58分～12時21分

全員協議会室

【委員】串崎委員長、飛野副委員長

川上委員、野藤委員、笹田委員、布施委員、道下委員

【委員外】三浦議員、西川議員、村武議員、柳楽議員、小川議員、上野議員、永見議員、
西田議員、西村議員

【議長団】佐々木副議長

【執行部】

（産業経済部）湯浅産業経済部長、佐々木産業経済部副部長（兼広島事務所長）、
大驛商工労働課長、山口産業振興課長、田中ふるさと寄附推進室長、
久佐農林振興課長（併農業委員会事務局長）、石原農林振興課副参事、
永見水産振興課長、戸津川水産振興課副参事、岸本観光交流課長、
川合開府400年推進室長

（都市建設部）石田都市建設部長、三浦建設企画課長、寺戸建設整備課長、邊地籍調査課長、
鎌田維持管理課長、吉田建築住宅課長

（地域政策部）宮崎関連施設支援室長

（金城支所）吉永金城支所長、河内金城支所産業建設課長

（旭支所）塚田旭支所長、今田旭支所産業建設課長

（弥栄支所）岩田弥栄支所長、後野弥栄支所産業建設課長

（三隅支所）田城三隅支所長、永田三隅支所産業建設課長

【事務局】近重書記

1. 執行部報告事項

- | | |
|---|-------------|
| (1) ふるさと寄附について（報告） | 【ふるさと寄附推進室】 |
| (2) 渚の交番事業について（報告） | 【水産振興課】 |
| (3) 漁業別水揚げについて（報告） | 【水産振興課】 |
| (4) 旭温泉水を活用した「すっぽん事業」提案者（経理担当者）逮捕後の経過について（報告） | 【旭支所産業建設課】 |
| (5) ふるさと体験村施設の管理運営について（報告） | 【弥栄支所産業建設課】 |
| (6) その他 | |

2. その他

- (1) 地域井戸端会の集約意見について
- (2) その他

【議事の経過】

[9 時 5 8 分 開 議]

串崎委員長

出席委員は7名で定足数に達しているため、直ちに委員会を開催する。

1. 執行部報告事項

(1) ふるさと寄附について（報告）

申崎委員長	ふるさと寄附推進室長。
ふるさと寄附推進室長	（以下、資料をもとに説明）
申崎委員長	この件について質疑があるか。
川上委員	今日、1月末日の時点でどうなっているか分かるか。
ふるさと寄附推進室長	1月に入り3,700万円程度。トータルでは12億4,800万円。
川上委員	年度末にどの程度になる見込みか。
ふるさと寄附推進室長	昨年度は3か月で約1億5,000万。29年度が3か月で1億1,000万程度。今年度は3か月で1億2,000万程度の算段が立つかと思う。
川上委員	リピーター対策としてのメールマガジンがありました。メールマガジンは誰が作成しているか。どれが市が作成しているのか。
ふるさと寄附推進室長	委託事業者。ものによっては、市が原案を作り配信を依頼している。
川上委員	市が作った内容に見える。
ふるさと寄附推進室長	基本的に文章は市の立場で出してもらうように作成している。そのため市がつくったような文章になっている。原案は協議しながら作るのもしかしたら明確には出ないかもしれないが調べて報告する。
川上委員	4月から指定管理者が変わってくる。新しいプロポーザルの募集をかけられたと思う。随契ではなく新しい契約か。
ふるさと寄附推進室長	はい。今年度業務委託は年度途中から年度末まで。新年度からの委託を目指してプロポーザルを始めた。指定管理ではなく業務委託。
川上委員	3月末に今回の成果が出るはず。どの時点までに成果を出していつ頃発表されるか。目標と成果について。
ふるさと寄附推進室長	業務委託なので実績報告がある。年度が終わった後に事業者に求める。
川上委員	結果をまた教えてほしい。
ふるさと寄附推進室長	また、情報提供する。
布施委員	昨日もふるさと寄附について新聞報道があった。目標10億円に対して12億円に達した。内訳のうち今回突出して伸びたものはあるか。報道で歴史資料展示施設のことでふるさと納税を使って一般財源を使わないということが取り上げられている。
ふるさと寄附推進室長	今後、その部分をやるならそこへ寄付しよう人も増える可能性がある。市長も途中段階で4億円くらいはふるさと納税を持っていきたいと。そこの分析や割合は増えているのではないか。
ふるさと寄附推進室長	まだ年度末でないので数字の比較はしていない。昨年度の14億1,000万円の内訳と今回を比較すると、割と似たような配分ではないかと思われる。年度末で決算をしたところで比較をしていきたいと思います。
布施委員	ふるさと納税は近隣市町村に比べ浜田は成績が良い。中国地方では依然として2番目か。全国ランク、中国地方ランク等が分かれば教えて欲しい。
ふるさと寄附推進室長	今年度の話か。申し訳ないが年度途中ではつかむことができないのでなかなか出せない。
布施委員	ふるさと寄附は一時加熱的だったが落ち着いた。諸課題がいろいろある。高額寄附者への特典、手数料が高い、返礼品の規制等。浜田市の場

合、返礼品は水産に偏っている。原材料がとれない中、提供業者も大変苦慮されると思う。担当課としてどのように返礼品確保をするか。

ふるさと寄附推進室長

28、29年と、総務省からの通知で電化製品など控えるようにと地元で工場を持っている自治体でいったん消えていた返礼品が、地場産品として少しずつあらわれているものも見える。まだ制度的には落ち着いていないのかと。国の動きに注視していかねばならない。浜田の産品は、水産物、特にノドグロが中心。水揚げが少なく途中鮮魚が品切れになったりもした。加工業者は在庫調整しながら管理を日々やっている。入荷の次第によって動かしている。今年度において、松永和牛に浜田に進出していただいたのと、松永さんの牧場が浜田にかかっていることから国に照会し、浜田産品として取り扱っていいことになった。水産物以外のところでもできるだけ広げていきたいと考えている。

布施委員

掘り起しが必要。ふるさと納税で全国の人に買ってもらうことも大事だが、業者がそれをやることで広がりを見せ、直売につながれば良い。これを機会に商売発展のカギにさせていただき、次へつなげるしかけづくりが終着点だと思う。業者の方にもこれを機会にさせていただき、を手助けするのが行政の役目だと思う。

産業経済部長

おっしゃるとおり。浜田市はいち早くふるさと納税に取り組み、全国でも上位ランクにつけた実績がある。業者さんのスキルも高まってきた。行政、業者さんが一緒に培ってきた成果だと思っている。ランキングを見ると海産物・水産物が主だが、農産品も出したらすぐ売り切れる。特筆すべきはコーヒーのドリンクセット。なぜ浜田でコーヒーなのかと思われるかもしれないが、全国的に人気。有楽町にふるさとチョイスカフェというアンテナショップがある。業者さんが感謝祭や催し物でPRしていただいたおかげだと思う。他にもケンボローの豚、松永牛。しっかり今の寄附者と新たな寄附者を確保できるようやっていきたい。

笹田委員

あまり金額が変わらないよう進んできた。今後どのような見解をお持ちか。

ふるさと寄附推進室長

これまでの推移を見るとやはり下降傾向にあった。ほぼ維持できたのは、他の自治体を見ても、よく30年度落ちなかったねという声を聞いたので、努力の成果だと思う。事業者さんの話を聞いてみると、手紙を送ったり、要望を聞いたり密に連絡を取ったり等、リピーターを掴んでおられて安定している。競争が激しくなっているので維持するのも厳しくなっている。先の推計をたてるのは難しいが、まずはできるだけ現状維持、それから新しいものによる拡大を考えている。

笹田委員

維持ができれば良いが、リピーターの力は必ず必要になる。新規となると返礼品争いのような流れによる変動が起きている。リピーターは何パーセントか。

ふるさと寄附推進室長

正確な数字は正直分からないが、ふるさとチョイス等で入ってくる際に、同じデータで入れていただくと、ある程度は掴める。トータルで言うと全体の15パーセント程度が、これまでに複数回寄附されている。

産業経済部長

リピーターは多いと思うが、手元に数字がないため調べて改めて報告する。

笹田委員

数字を掴むのは大事だと思う。リピーター数、割合はどうにかして押

さえて。リピーター対策にも生かせると思うので数字は持つておくべき。この資料にも載るとわかりやすい。

産業経済部長

事務方はおそらく抑えていると思う。私もずっとリピーター対策を言ってきた。また報告する。

笹田委員

先日どこかの返礼品で、鍋セットのラーメンの麺の賞味期限が切れており、マイナスイメージがつく可能性がある。返礼品も再度しっかり業者さんと協議して、そういった間違いがないようにしてほしい。

飛野副委員長

浜田市にとって貴重な財源になっている。あまり厳しい受け止め方は私はできなかった。資料を見ると5年の中で一番低い数字になる可能性もある。今回の資料で、10、11、12月の率が気になっている。明らかに続けて3か月大幅に低い。何か分析されているか。

ふるさと寄附推進室長

12月末までで4,800万円程度減となっている。1点明確な差としては、今年度は経費を見直しており、委託料の高いポータルサイトは8月末をもって契約解除している。平成30年度はそこから11月末までで約3,000万円入っていたのでその入り口が消えた影響がある。10月の消費増税に合わせ返礼品リニューアルをした。仕入れ価格が上がったり、経費の見直し等があり、同じ商品でも必要金額が増加しているものがある。そうした割高感があった。逆に9月は駆け込み需要で前年より多かった。徐々に持ち直してきているのが数字から見える。

飛野副委員長

リピーターはよくご存じだ。返礼品の内容が変わったことが影響している。加工業者はふるさと寄附返礼品の中でもウェイトが高い。例えばノドグロが5枚が4枚になって、リピーターが感知している。そういったことはないか。

ふるさと寄附推進室長

10月にリニューアルした際、事業者によってそういうことがあった。寄附額を維持したまま内容を少し抑える。逆に同じものを用意する代わりに値段を変えた所もある。そうしたところから影響があったものと思われる。平成29年度には国から返礼品の原価率は30パーセントに抑える指示があった際にもリニューアルを行ったが、その時にも影響があった。

産業経済部長

6月1日に総務省から制度改正の発表があった。ここで駆け込みが1回あった。その後浜田市は10月にリニューアル改正するとサイトに流した。駆け込みを狙ったもの。それを受けて8月、9月は昨年から上がっている。その反動として、10、11月が落ち込んだ。それを年末にもう1回、12月に何とか取り戻して昨年並みに落ち着いた。リピーターの方に動向をしっかりとチェックされ、努力が認められたものと思われる。

飛野副委員長

新しい返礼品開発も頑張っていたきたい。

野藤委員

ふるさと納税なので税金を払うよりはふるさと納税で返礼品をもらうお得感があるから、増えたり減ったりするのかと思っていた。10月から消費税が上がって、10、11月落ちたかと思ったが分析はどうか。

ふるさと寄附推進室長

イメージとしては消費増税に対する警戒をお持ちだったのかと思うが、浜田市はほぼ食料品なので、実際には軽減税率がかかるものばかりで、影響がない。しかし梱包や送料等で一部上がったものもあるが、当初考えていたほどの影響はない。

野藤委員

浜田産品をリピーターとして業者から直接買っていただく等で、売上

ふるさと寄附推進室長
産業経済部長

が上がったりといったことは担当課として捉えているか。

実態はなかなか分からない。

本制度は、返礼品とすることで全国に無料で産品をアピールできる画期的な制度でありましてこれによって、初めて浜田のノドグロを食べたとか市の果物を食べた方がたくさんおられます。寄附上限額は決まっている。それ以上に気に入っていただけたら、独自にお店に注文される方も増える。実際ふるさと寄附のおかげで工場を増設したとか2台目がかえって来たとか、そういうお話も伺っている。

野藤委員

これがいつまでも続くことはない。地元産業に貢献できる形で、各事業者さんのホームページに飛ぶ等、つなげていっていただきたい。

串崎委員長

その他あるか。

(「なし」という声あり)

(2) 渚の交番事業について (報告)

串崎委員長
水産振興課長

水産振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

串崎委員長
道下委員
水産振興課長
道下委員

この件について質疑があるか。

日本財団助成事業ということだが、全て補助費なのか。

ハード整備は、100パーセント助成。ソフト事業は、80パーセント助成。

浜田の資源を有効活用されるのは素晴らしい。場所は浜田の市有地だが、他の企業誘致も考えているのか。

水産振興課長

瀬戸ヶ島埋立地区の全体計画との整合性も示しながら今回も三線用地の私有地というところで立地というところで陸上養殖共同研究用地については確保しながらそこに影響がないように、NPO法人とも協議して進めている。

道下委員

浜田市の若者が頑張っている。市としても精一杯応援してほしいが、そういう様子が見受けられない。

水産振興課長

渚の交番自体が海を拠点とした地域振興を図る拠点施設となっていく。NPO法人さんは7月オープンに向けてコンテンツ作りを検討されている。その中には教育委員会が所管する海洋教育プログラムであったり、藻塩づくり体験は産業振興で、連携して市としても精一杯支援したい。

布施委員

ライフセービングの人数構成はどうか。交番となると常駐するのか。何かあった時の体制は。浜田は釣り客も海水浴客も多い。それらにも対応しながら、事前の予防活動も必要だ。

水産振興課長

ライフセービングクラブの会員30名、理事が8名。現在も救助活動をされている。海上保安部と連携を取りながら対応してくれている。今後は、拠点施設に最低1名は常駐するものと考えている。

布施委員

海難事故の現場にかけつけるのが第一前提だと思う。前の事業に、ジェットスキーのようなものがあった。そういったハードも整備する計画があるのか。箱ものだけか。

水産振興課長

今も水上バイクを購入される予定と聞いている。今の段階では詳しい報告ができない。

布施委員

ワカメ加工場の話もあった。直販はしないのか。

水産振興課長
布施委員

ここで一次加工して水産加工業者に納入されると聞いている。
浜田は魚だけでなく海藻類も人気だ。作業体験は子供のみか、一般も受け付けるのか。

水産振興課長

観光客誘致の拠点として考えているので、地元の小学生をはじめ、一般市民の方にも体験できるコンテンツ作りを検討していると聞いている。

川上委員

敷地面積はどの程度で、賃料はどうされるのか。

水産振興課長

敷地面積は渚の交番本体が1145.2平米、塩工場727平米。ワカメ工場が90平米貸し付ける。これについては、行政財産使用料条例に基づいて貸付金額を算定する。

川上委員

約2,000平米近いので結構な賃料になる。極力下げてもらって、なるべく活用してもらえ方向にしてもらえると嬉しい。

串崎委員長

その他あるか。

(「なし」という声あり)

(3) 漁業別水揚げについて (報告)

串崎委員長

水産振興課長。

水産振興課長

(以下、資料をもとに説明)

串崎委員長

この件について質疑があるか。

道下委員

一本釣りで江津が200パーセントになっている。あとは軒並みへこんでいる。これは何か原因があるのか。

水産振興課長

江津の水揚げについても浜田漁港へ陸送されてセリをされるよう集約化を図っている。いつから江津の水揚げが集約されたかは把握していない。江津が2倍になっている理由も把握していない。

道下委員

沖底船がドック入りしていると聞く。年明けから。これは特別な事情があるのか。

水産振興課長

詳しいことはうかがっていないが、確かに船の老朽化で、入ってくるたびに修繕して出ていくと聞いている。大きな修繕ではなく小規模修繕だと思う。特に長期的に船が出てないという話は聞いている。

道下委員

漁協はドックを縮小化している。修繕する時には境港・下関までといったところだがその対策は。長い目で見た対策は考えているのか。

水産振興課長

造船所の人員不足も確かに課題だとうかがっているが、現段階で市としての働きかけは特にしていない。

道下委員

漁師の方から岸会長に向けて陳情するという情報は当然知っていらっしやるだろう。生産者の船も一緒にやっていただきたいと強く思う。

水産振興課長

漁業者の方から将来的な造船をどうするのかという声はうかがっている。今後また漁業者さんの話をうかがいながら、市として何ができるか検討したい。

川上委員

これだけ水揚げが少なければ、仲買の方が非常に苦勞されているのではないか。現状はつかんでいるか。

水産振興課長

前浜の安い魚が調達できないという声は聞こえてくる。輸送コストをかけて魚を調達しながら事業をされている。沖底の事業停止前からそういう状況はあった。他からの産地の調達の割合が増えてくると営業にも影響すると伺っている。

川上委員
水産振興課長
笹田委員

仲買の皆さん大変苦勞されている状況と捉えて良いか。
苦勞されていると思う。

漁師になってこのような年は初めてだ。今年イカ釣りは本当に苦勞している。高齢化も進んでおり、漁師を辞めると言っておられる方もいる。仲買も大変だろうが、生産者が獲ってこないと仲買にもつながらない。改善策を考えておられるか。

水産振興課長

沿岸漁業は大変重要だと認識はしているが、施策はない。県と一緒に何ができるか、国の補助メニューもあるので、活用して告補助の上に市が何かできるかも含めてこれから検討したい。

串崎委員長

他にあるか。

(「なし」という声あり)

暫時休憩とする。再開は11時10分。

[11 時 05 分 休憩]

[11 時 10 分 再開]

串崎委員長

会議を再開する。

(4) 旭温泉水を活用した「すっぽん事業」提案者（経理担当者）逮捕後の経過について（報告）

串崎委員長
旭産業建設課長
串崎委員長
川上委員
旭産業建設課長

旭支所産業建設課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について質疑があるか。

2月12日に判決予定だが、上告があるのか。

一応上告期間として2、3週間程度おかれる。裁判所からの書類は3月中旬以降でないと入手できない。

川上委員
旭産業建設課長

年度内の賠償請求は無理か。

方向性だけはぎりぎり出せるかもしれないが、請求そのものが年度内にできるかは今後弁護士との協議による。

串崎委員長

その他あるか。

(「なし」という声あり)

(5) ふるさと体験村施設の管理運営について（報告）

串崎委員長
弥栄産業建設課長
関連施設支援室長
弥栄産業建設課長

弥栄支所産業建設課長。

(以下、資料をもとに説明)

(以下、資料をもとに説明)

(以下、資料をもとに説明)

串崎委員長
川上委員

この件について質疑があるか。

サウンディング参加者1者とのことで、偏った意見が出ているのではないか。これをもとに新しい指定管理を進めるのは難しいのでは。地域からも一切なかったと聞いている。どうするのか。

関連施設支援室長

サウンディングは行政側が提案者の意見を聴くということであるので公募なり仕様書の中にどうどう反映するかはこれからのこと。提案内容そのままが反映されることはないし、どこまで反映するかも今後検討し

ていきたいと思う。

川上委員 サウンディング参加者から、提案内容について公表可とするといわれたので可能なら見せていただきたいのだが。

関連施設支援室長 書面か。提案された方の確認をとり、了承が得られたら開示できると思う。

川上委員 本当に弥栄に対して良い思いかどうか我々も確認したい。是非お願いする。

指定管理者制度を導入するとお金がかかります。あまりたくさんの金がかかるようなら、この施設を無償譲渡にした方が良いという思いもあるのだが。

弥栄産業建設課長 今回の指定管理、公募を行い、公募者がいないようなら、そういうことも検討する必要がある。

川上委員 指定管理料も相当な金額になるはず。施設が買えるような金になるので、そういう方向でも検討してほしい。

弥栄産業建設課長 指定管理料についても検討していきたい。

笹田委員 この1者はどういう会社か。

関連施設支援室長 通常はお答えしないのだが、この方は非常に前向きで是非言ってくれと言われた。よく御存じの方。

笹田委員 費用等は出てないのか。

関連施設支援室長 まだ出てないのでお答えできない。考え方としては、こういう部分のみ出すとしている。提案者の方からの具体的な金額提案はなかった。

笹田委員 サウンディング参加者への費用支払いはなかったか。

関連施設支援室長 出してない。

笹田委員 指定管理者公募の日程変更とのことだが、改修予定をするのはわかるが、指定管理者が決定してから改修するというのはどういうことか。

弥栄産業建設課長 指定管理者が決定してから、細かい部分は協議させていただいて着手したため。

笹田委員 市では施設をどう利用するか固まっていて、そこを直さないと使用できないから指定管理者の選定を早めて進めたい意向があるように見受けられる。どうか。

弥栄産業建設課長 実際にはまだ決定していない。一応我々が見た限りでは少しかかりそうで、再開に間に合わないことがあってはならないため。

布施委員 民間の幅広い意見を聞こうという試みは良い。大まかな整備をしなければならぬ指摘もある。Wi-Fi整備等。それに対して指定管理者募集するにしても、最低限やるべき部分がある。サウンディング提案者への回答はその場でされたのか。それをもって結論はいつ示すとされたのか。

関連施設支援室長 するかしないかは一切回答していない。サウンディングはあくまで公募前に行い、公募を行ったときにその結果が反映しているかが分かる。そこからスタートするもの。サウンディングを行った事業所が即公募に手をあげて選定の対象にあるというわけでもない。公平なスタートになる。公募が始まった時までには反映するかということになって事前に反映をするしないとか回答ができるものではない。で意見を聞いた方が指定管理者に決まるという確約もない。

布施委員 指定管理者の応募が1者となった場合は、見送る可能性もあるのか。

弥栄産業建設課長

審査会があるので審査していただき、一定の判断をさせていただく。
1者だから決定というわけではない。

布施委員

このスケジュールが大幅に変わってくる可能性がある。弥栄体験村自体を、残さねばならないのかという問題もある。基礎的な考え方は公募ありきの部分と、地域のためにこれはどうしても残すという場合、想定する必要がある。なかったら無償譲渡するのか、それともこの部分はふるさと郷育で残すとか。公募者がいない場合のことも考えておいてほしい。

弥栄産業建設課長
串崎委員長

それも含めて考えていきたい。
その他あるか。

(「なし」という声あり)

(6) その他

串崎委員長
商工労働課長

他に執行部から何かあるか。商工労働課長。
萩・石見一羽田線の2020年夏ダイヤのスケジュールについてご報告する。1点資料の修正がある。羽田発から萩・石見「発」となっているが「着」の間違い。訂正をお願いする。

2時間前倒しになったことで利用しやすくなると思う。是非利用して欲しい。

串崎委員長

説明が終わった。この件について委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

その他には。

ふるさと寄附推進室長

リピーターについてのご質問があった。笹田委員からのリピーターについて質問がありました。寄附いただいた方を過去寄附いただいた方を見ると約50パーセント近くがリピーターの方だった。

川上委員から、メールマガジン配信についてご質問があった。通常は2週間に1回程度、メール配信をしている。資料に掲載した4回のうち12月6日、12月20日配信のものは原案を委託業者が作成したもの。12月は強化し、メールを増やすということで13日、28日のメールは原案を市が作成した。

串崎委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

以上、報告が終わった。これら報告事項について、2月7日の全員協議会で説明すべきもののみ決定したい。執行部側の意向を報告いただく。

商工労働課長
串崎委員長

(4)、(5)についてを全員協議会で報告したい。

執行部側の意向が示された。委員から意見があるか。

(「なし」という声あり)

では、以上のとおり決定とする。

2. その他

(1) 地域井戸端会の集約意見について

串崎委員長

昨年10月に行われた地域井戸端会の意見一覧をタブレットへ配信しているので、ご確認いただきたい。これについては執行部退席後に委員のみで話したい。

(2) その他

串崎委員長

その他、執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

川上委員

先ほどの水揚げについての中で触れたが仲買の方々、非常に苦勞されていると思う。その前に委員会で仲買の方々の現状の意見、思い等を聞く場を作った方が良いと思う。委員の皆さんにお諮り願う。

串崎委員長

この件について質疑があるか。

布施委員

今の段階で11月オープンとなっている。仲買の方とは移転了承ということで進んでいると認識している。何をどう聞くのか。委員会として申し入れるにはそれが必要だ。今の状態を仲買の方に、個々の問題はあるだろうが契約上移転は了承していると、今までの委員会の中でも担当から説明を受けている。その状況は担当課として、仲買の方が大まかで合意しているのか確認したいのだが。

水産振興課副参事

改修工事の発注準備中。仲買の方にも仲買棟に区画の方も決めてもらって移ってもらう。現地について個々の希望を聞いて進めている。個々には移転による冷蔵庫移転費用等、仲買の方の負担も当然ある。しかし皆さんで集まって移転を決めてもらっているので、思いは持っているかもしれないが全体で移ってもらう。

布施委員

執行部は、意向を確認して進めていると回答があった。川上委員は、委員会として仲買の方に話を聞くべきだと、どういった観点から思ったのか。

川上委員

1月に入ってから仲買関係者から直接的にも半直接的にも、自分たちは非常に苦慮している、移るお金もかかる、事業継承も難しいと。何軒かそういう思いを持っておられるなら、議会として委員会として聞いておくべきだと思ったので提案した。

野藤委員

私も移ることは既定路線になっていると思っている。オープンしてから課題が出てくるのかなと思う。オープン後により良いものにするための意見交換はあってもいいかと思う。

川上委員

現時点で、仲買市場の方のうち、何軒くらいが二の足を踏んでおられるか。

水産振興課副参事

一応皆さん移転について賛同いただいた。反対に挙手した方はいなかった。ただ、高齢や継承者がいないことで保留や移るのを考えたいという声はあった。皆さんに揃って移っていただきたいという話をした中では市の意向には賛成をしてもらっている。

川上委員

山陰浜田港公設市場の指定管理者の募集が終わって、多分すべて終わったと思う、その中ではそういう問題は出なかったのか。

水産振興課副参事

仲買の方の移設に関してのことは指定管理者選定については特段なかった。指定管理の提案内容にではなくて、仲買棟には仲買業者の方が入ってこれまで業務を行っていただくということで。ただ多くの方にできれば小売りしていただきたいという話があり、それについては執行部も一緒に働きかけをしたいと思っているところです。

川上委員

心配したのは、始めてもその時になったら10何社のうち3、4者が入らないから賃料が入ってこないとなると、指定管理者の運営が難しくなっ

たよと。いうことが起きないかなと。その前に先に意見を聞いて、考えてもらう場がくれたらいいのではということが必要ではないか。何社か問題点を抱えているなら聞いておきたい。それが委員会の役目であり、議員の役目ではないか。執行部だけでなく我々議会議員が、仲買市場の方々の意見を聞いておく必要があることを認識していただきたい。

串崎委員長
道下委員

何かご意見はあるか。

私は頻繁に出入りしている。委員会として全員で把握することはやぶさかではない。

笹田委員

仲買人が気持ちよく商売するためにどのように移転するかについて、一般質問にも取り上げた。私も水産上の人間なのでいろんな不平不満をいまだに言う方がおられる。個人でも十分聞けるが、現在移転が決まっていて、話を聞くとなると、おそらく不平不満を言われることが多いのだろう。それを言われて終わるならやる意味がない。議会として出ていく以上は、仲買人さんが何がお困りで、何が不服なのか。11月移転に向けてはどうなのかと思う。ただ聞いた意見をいってくれという話だとあまり意味のない話になるのではと思う。聞く以上は前向きな建設的な意見を引き出す内容を委員会としてあちらに提示して、それにこたえてもらうなら良いと思うが。

飛野副委員長

意見を聞くのが委員会の役目だという話が川上委員から出た。必要ではあるがタイミングと、一から十ではなく、何かこれについてと示せば意見が出るのではないか。

布施委員

委員会としてどうするかのを示す前に、委員会の中でももう少し討議をしないと。笹田委員が言われることはもっともだ。川上委員が言われる危惧することもあるかもしれない。仲買の方が気持ちよく商売するためにはどうしたら良いかを考えるべき。議員間にも温度差がある。討議した上でのどうするかをやった方が私はいま聞いただけのことでやると多数決になった際に委員会でも非常に難しい。そのうえでの採決なら私は参加しますが討議ができてない状態で決めるのは難しいのではと思う。

笹田委員

布施委員もそう言われているし、川上委員も言いたいことがあると思う。執行部退席後に自由討議して結論を導けば良いのでは。

川上委員

自由討議も必要ですが指定管理者も決まったのではないかと私は思っている。決まってから我々が討議しても意味がない。執行部の方がおられた方が良い。その場で聞けるから。賃料が減ったら指定管理できるのか。賃料を安くして入っていただき、もうけていただき、お金を出していただければいいのでは。そういうことも話したい。じっくり話をした方が良い。

串崎委員長

とりあえず、執行部がいた方がいいのではという話でございました。笹田委員、川上委員においては温度差があるので終わった後で議員間で話をした方がいいのではという意見でございます。それを含めましてこの場で今採決をするのか、後で議員間で話すべきかを採決させていただきたい。

川上委員

この場でするしないを決めるならするとしておいて、何を話すべきかを決めるべきでは。話をしないとすると意味がない。

串崎委員長

ここで時間をとっても仕方がない。一応終了した後で議員同士で討論して決めたい。それでよろしいか。

笹田委員

委員会の中でやらねばならない。執行部は退席後で。

串崎委員長

それでよろしいか。他にあるか。

笹田委員

新型コロナウイルスが蔓延して、日に日に感染者が増えている。不安な方も増えている。浜田市に感染者が入った際の対処はとられているかお聞きしたい。

商工労働課長

市も心配している。午前中に対策班会議を行った。今後の対応について話をして、仮に県内で事例が発生したら対策本部を立ち上げることになるかと思う。まずは関係部署で情報収集を行い、各部署の情報を持ち寄って、話をしていく。

笹田委員

しっかり連携を取って。患者が出てもあわてないようにしないと市民も不安だろう。市としてしっかり他の部署と連携してできる体制を構築して感染症が広がらない対策強化していただきたい。

串崎委員長

その他あるか。

布施委員

小売店が閉店している。閉店後の話は出ているか。

商工労働課長

いろいろな動きの噂は聞いている。引き続き情報収集したい。

串崎委員長

他にあるか。

(「なし」という声あり)

ではここで、執行部は退席しても構わない。

《 執行部退席 》

串崎委員長

再度、その他1について。この場での議論は難しい。今後政策討論会も出てくるのだろう。私の気持ちとしては今回は持ち帰ってよく読んでいただき、次の委員会でこれから取り上げていきたい項目を発表していただければいいと思うのだが、どうだろうか。

(「異議なし」という声あり)

では、川上委員から出た仲買市場について、委員のお考えを決めていただきたい。

川上委員

今日こういう意見を出したのは、1月に入ってある方から話を聞いたから。賃料が高いから難しい。本当に全部まかなえるか、新しいものを買う費用はどうするのか、事業継承ができないから残るといふ人もいふ、議員さんみんなの意見を聞いてくれと言われた。委員会として何もせずに執行部案を認めるのもいかなものか。委員会は執行部のチェックをするべき。賃料について、前と一緒にだからこそ皆の経営が苦しく、魚の少ない時期に苦しいと。例としてよくないかもしれないが元谷地区は賃料を安くして、利益を出して、利益を浜田市に返してもらうようにするのが一番良いのでは。できれば皆と一緒に移った方が良い。

指定管理者は、発表段階にある。ある方が住民監査請求をして陳述を行われて、近々結果が出る。いろいろ問題がある中で早急に進めていいのか。委員会としてももう少し慎重に意見を聞くべきでは。

布施委員

川上委員の思いはよくわかった。前委員会では勉強会として仲買の話聞いたこともある。気持ちよく移ってもらうために執行部は努力した

という話も聞いている。

物事を進めるために全員が良しとして進めるなら、それに越したことはないが。川上委員にお聞きするのですが委員会として何をその人たちに答えとして出すのか。委員会に聞いてもらったから我々は好条件で移れると勘違いされても非常に難しいところがある。委員会として聞いたときに何を最終的にしたいのか。

川上委員

何が言いたいかと言うと、執行部の答えが正解とは限らないので、移られる方々が本当にどう思われているかを聞いて、なるべくそれに沿う形で執行部に伝え、執行部に沿ってもらうことが必要だ。執行部に話すことと、我々に伝える話には違いがある。その違いを聞き取って執行部に伝えるのが我々の役目だ。

布施委員

議員に対する自分たちの考え方と執行部に言う話と我々に言う話は答えが違うという意味合いでとったが本当にそうなのか。こまかいことはあるが全体の計画を見たら、ある程度理解されたうえでの契約になっているように見えるが。

川上委員

大きな違いがあるとは言っていない。確定していない問題がある。本決まりになってない。決まったとも聞いてない。仲買の方々の意見を聞いた方が良いのではないかという思いがある。執行部の方はほとんど決まっていると言うが、本当にそうなのか。我々はそれを繋ぐ役目がある。仲買の方々の意見を極力聞く必要がある。

野藤委員

仲買だけの問題ではなくなってくる。指定管理が入っている所すべてに言える話になってくる。了承された後になって、不平不満があるから委員会がでるのはやっぱり違うというような気がする。オープン前に決定したことを、我々が聞いて動くというのは何か違和感がある。

川上委員

執行部が決めたこと。指定管理の中身はすべて。それを承認するのが我々の仕事。しかし仲買の方々の思いを取り込めないうちに承認するのが良いのか、思いを聞いて判断するのが良いか。良い悪いは別にして、意見をなるべく把握しておくのが委員会の役目だと思っているので、考慮していただきたい。

笹田委員

私は集まってくる意見を集約して一般質問をして不平不満がないような形で進めてくださいと質問した。情報収集は個人でもできる。委員会として動くとなると何を求めて何を還元するかがこの案件に関しては相当厳しいと思う。言った意見が反映されなかった場合に委員会の責任になる可能性がある。執行権は市にある。議員個人でやっている。それを委員会としてやると議会全体の意見としてとられる可能性も十分にある。今言われているのもわかるが個人でもやれる。委員会が聴いたので行使なさいと言える案件ではないと思う。移転条件について話をするとすると考慮が十分必要ではないかと思う。

飛野副委員長

私の意見は先ほど言ったものと変わらない。執行部側へ言うのとこちらへ言うのとは違う内容だという話だが、それは判断できるのか。やるとすれば執行部も同席する必要があるのでは。

串崎委員長

私も、笹田委員のご意見に似た部分がある。委員会として動くのは大変重いと思っている。私は業者と面識がないが、執行部もいろいろ話を聞き、話をしていると思う。本当は行きたくないが皆さん行かれるので

仕方ないという方もいるはず。私たちが行けば話の中で執行部にこれとこれを頼んでいるから頼むという話もあるだろうし、それ以上に本当はこういうことをやっていただきたかったのだが、執行部に認めていただけなかったという話が主になるのだろう。それを委員会として聞いて執行部に反映させるというのは重い話になる。執行部も秋までにはという流れで一生懸命やっておられる。委員会として動くのは重い。

川上委員

執行部と仲買市場の方、協議をたくさんされたと思う。その上でこういう話が出ている。委員会として、執行部と仲買の方々との協議内容をオープンにさせていただくよう要請したらどうか。

串崎委員長

いまのご意見についてどうか。暫時休憩とする。

[12 時 16 分 休憩]

[12 時 19 分 再開]

串崎委員長

会議を再開する。

川上委員

仲買の方々と執行部の話にどんなことがあったか、羅列して見せていただきたい。

串崎委員長

それでよいか。

(「はい」という声あり)

笹田委員

では執行部に要望したい。意見聴取についてはどのようにすべきか。川上委員が言われたように資料請求をするので、資料を通じて委員会として把握して、それからにすればいい。

串崎委員長

それでよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのように決めさせていただく。

以上で、産業建設委員会を終了する。

[12 時 21 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 串崎 利行 ㊟